

## 第47回宮城県下中学生柔道新人体重別選手権大会要項

1. 主 催 宮城県柔道連盟
2. 共 催 宮城県中学校体育連盟
3. 主 管 宮城県中学校体育連盟柔道専門部
4. 期 日 令和7年2月8日（土）
5. 会 場 宮城県武道館  
仙台市太白区根岸町15-1 TEL022-249-1216
6. 参加資格 (1) 県内中学校に在学する1, 2年の柔道修行者であること。  
※柔道を習い始めてから少なくとも6ヶ月程度の十分な練習期間を設け、受身や基本動作に習熟し、試合等の攻防に対応できる体力が備わった選手を登録することを原則とする。  
  
(2) 地域クラブ活動に所属する生徒【特例措置】  
宮城県中学校体育連盟が示す条件等に準ずることに加え、柔道競技において大会における地域スポーツ団体等の参加資格特例条件を次の通りとする。  
①公益財団法人全日本柔道連盟（以下、全柔連）が定めた令和6年度において、各都道府県柔道連盟（協会）を通して全柔連に加盟、登録を済ませている。加盟、登録上、届け出をしている所在地の都道府県で参加することができる。  
②大会の引率、監督、帯同コーチは、宮城県大会において全柔連公認指導者資格C指導員以上の資格を有していなければならない。  
③大会参加にあたり、上記参加資格特例条件等に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域スポーツ団体等の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和6年度内の参加を認めない。
7. 監督・引率 (1) 学校においては、引率者及び監督は当該校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員（※1）とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。  
①満20歳以上であること。  
②主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。  
③中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。  
④他校と兼務していないこと。  
⑤次のいずれかに当てはまる者とする。  
ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。  
イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。  
ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。  
※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。  
(2) 部活動指導員が監督、引率をする場合は、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」（※2）がチームに帯同すること。  
※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1 部活動指導員の職務第2留意事項(3)(4)より。

(3) 大会では外部コーチをおくことができる。ただし、外部コーチは出場校の校長が認めたものとする。しかし、当該校以外の中学校教職員は外部コーチになれない。また、同一人が複数校の外部コーチにはなれない。1校につき1名（他校と兼ねることはできない）を認める。

コーチの条件とは次の通りである。

- ① 当該校の校長が認めた者。
- ② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者。
- ③ 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
- ④ 外部コーチは、中学校の教職員（行政に勤務している教員も含む）でないこと。
- ⑤ 審判員に準じた服装をすること。

※大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせる事もある。

(4) 引率・監督は、審判員に準じた服装をすること。

(5) その他の団体においては、同一競技内において、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で監督、コーチとして登録できるチームは1チームのみであること。

監督、コーチ含めて最大で3名までの登録を認める。

(6) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、外部指導者（コーチ）等は、部活動中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。また、地域クラブ活動においても指導者に暴力等がないことを代表者が確認して、大会申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。

## 8. 種 目 男女個人戦のみとする。出場者数は、男女ともに各階級オープン参加とする。

※今年度より各階級の出場人数制限はありません。

男子	(1) 50kg級	(50kg以下)
	(2) 55kg級	(50kg超～55kg以下)
	(3) 60kg級	(55kg超～60kg以下)
	(4) 66kg級	(60kg超～66kg以下)
	(5) 73kg級	(66kg超～73kg以下)
	(6) 81kg級	(73kg超～81kg以下)
	(7) 90kg級	(81kg超～90kg以下)
	(8) 90kg超級	(90kg超)
女子	(1) 40kg級	(40kg以下)
	(2) 44kg級	(40kg超～44kg以下)
	(3) 48kg級	(44kg超～48kg以下)
	(4) 52kg級	(48kg超～52kg以下)
	(5) 57kg級	(52kg超～57kg以下)
	(6) 63kg級	(57kg超～63kg以下)
	(7) 70kg級	(63kg超～70kg以下)
	(8) 70kg超級	(70kg超)

## 9. 試合時間 3分

10. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規程（2022年4月1日施行の改正ルール）及び国内における「少年大会特別規程」、今大会申し合わせ事項によって行う。

柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りを不可とする。

(公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

## 1.1. 競技方法

各階級，トーナメント戦とする。

※エントリー数によってはリーグ戦とする場合もある。

試合時間は3分間とし，延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。

勝敗の判定基準は，「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）では，技による得点がない場合，「指導」差が上回った時点でその選手の負けとする。

両者反則負けの場合には，両者とも次の試合に進めない。

※リーグ戦方式の場合，順位は以下の方法によって決定する。

**「一本」＝「反則負け」>「技あり」>「僅差」>「GS一本」＝「GS反則負け」>「GS技あり」>「GS僅差」**

ア 各試合における勝ち，負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は，勝ちの内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は，負け数負けの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は，順位決定戦を行い決定する。

## 1.2. 参加料

**一人1,500円とする。**（大会当日，受付時に支払い）

※参加申込後の参加取り消しや欠場の場合でも，参加料を徴収する。

## 1.3. 申し込み

(1) 申込方法（各チーム監督→所属地区委員長→宮城県専門部委員長）

※所属地区委員長＝令和6年度中総体時の地区委員長

①監督は，下記のデータをそろえ，所属地区委員長に提出する。

ア R6申込書（Excelファイル）

イ R6申込書をプリントアウトした申込用紙に学校長職員（クラブチームは責任者印）を押印し，PDF化（フルカラー・300dpi以上に限る）したファイル

※押印した申込用紙はデータでのみの受付とし，原本を郵送では受け付けないものとする。また，男女で出場する場合は，ファイルを男子・女子の順で1つにまとめる。

②所属地区委員長は，下記のデータをそろえ，宮城県委員長に提出する。

ア 各チームの申込用紙（職印等を押印したPDFファイル）

イ 所属地区委員長入力用ファイル1（宮城県委員長から送信したExcelファイル）※選手一覧

ウ 所属地区委員長入力用ファイル2（宮城県委員長から送信したExcelファイル）※参加チーム・監督・コーチ一覧

(2) **申込期日 令和7年1月7日（火）16:30**

※各ブロック委員長は令和7年1月15日（水）16:30までに宮城県委員長にデータをメールで送信する。

※期限厳守のこと。手続き上の不備は，全て所属地区委員長の対応となる。

(3) 申込先及び連絡先

〒984-0834 仙台市若林区蒲町9-1

仙台市立蒲町中学校 相澤 祐介

Tel:022-285-6521 mail【[ts014712@g.sendai-c.ed.jp](mailto:ts014712@g.sendai-c.ed.jp)】

#### 14. 日程

令和7年2月8日（土）

（2月7日16：00から会場準備）

7:30 開館

※役員集合7時15分

選手・保護者入口は2階のみを使用

※役員は1階玄関から入館

選手の荷物等は3F 剣道場に置く

8:15～ 8:45 計量・柔道衣点検（1F 柔道場）

※予備計量は本計量の前までとする

9:00～ 9:30 監督・審判会議（3F 剣道場）

9:40 開会式

10:00 競技開始

※試合の進行によって時程変更あり

※決勝戦終了後に閉会式を行う。

**※閉会式が終了するまで役員、監督、コーチ、選手、補助員以外の立ち入りを禁止する**

15. 組合せ抽選 県中体連柔道専門部会長、委員長、副委員長立ち会いの上、抽選により決定する。抽選結果については、各郡市地区委員長宛に1月末ごろに送付し、関係校にお知らせする。

16. 計量・柔道衣点検（会場にて、各選手定められた時間で行う）

##### 【計量】

- (1) 公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
- (2) 公式計量は1回とし、再計量は一切認めない。
- (3) 公式計量の服装については、男子は下穿き、女子は試合用Tシャツと下穿きとする。※包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
- (4) 公式計量の実施方法については、次の通りとする。
  - ①定められた階級の体重区分内にはないものは失格とする。
  - ②別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。
  - ③計量において、不正・偽装行為（競技役員の指示なく、体重計から降りる等）が競技役員によって確認された場合、該当選手を失格とする場合もある。

##### 【柔道衣点検】

- (1) 現行の（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。（新規格の赤色のマーキングのもの）
- (2) 柔道衣に必ずゼッケン（チーム名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
  - ①布地は白（晒、太綾）とする。
  - ②サイズは横30～35cm縦25～30cmとする。
  - ③名字(姓)は上側2/3、学校名は、下側1/3とする。
  - ④書体は太字ゴシック体とする。（明朝または楷書でもよい）。
  - ⑤文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
  - ⑥縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
  - ⑦チーム内に同じ苗字（姓）の選手がいる場合は、名前の1字を記載する。
- (3) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖・丸首・無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※Tシャツのマーキングについては、（公財）全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- (4) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。

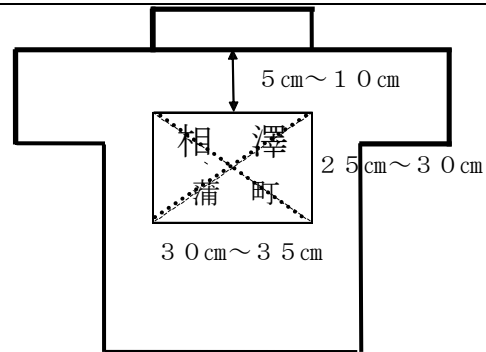
(5) 胸マーキング等について、ゼッケンのチーム名と異なる場合等は不可とする。

※この際、柔道衣が規定に合わない、ゼッケンの対角線縫いがないなど、不備がある場合は失格となります。事前に各学校においても顧問の先生から出場選手への指導を徹底する。

※袖や裾が長いため、折り返して縫い付ける柔道衣の着用は認められない。

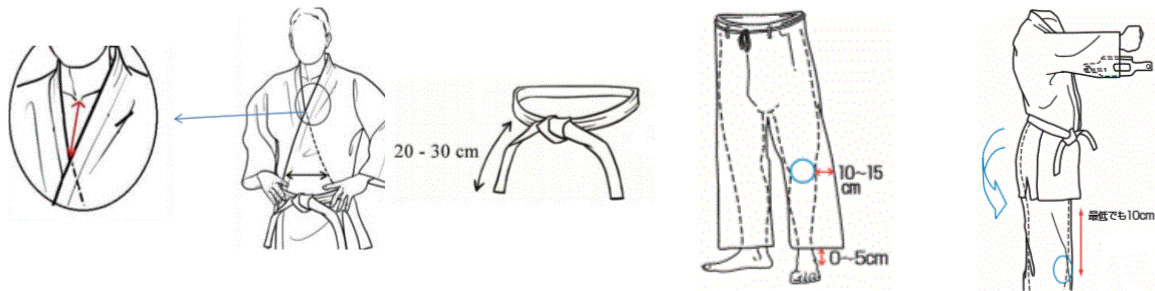
## 〈例〉

※ゼッケンのサイズ及び縫いつけ場所



### 規格柔道衣（コントロール面・規格面）について

- 袖は柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。
- 胸骨の一番上から襟の重なり合う部分まで垂直で10 cm未満
- 上衣の併せ目で下襟の長さが水平で25 cm以上なくてはいけない。
- 襟幅は最大4 cm、4筋縫いであること。
- 上衣丈は、前後が同等の長さで臀部を完全に覆っていること。
- 下穿の裾口からくるぶしの外側（足首）までの距離は5 cmかそれ以下であること。
- 下穿の幅は、膝の位置で、10 cm～15 cmであること。
- 帯中央の結び目から帯の端までの長さは、20 cm～30 cmであること。



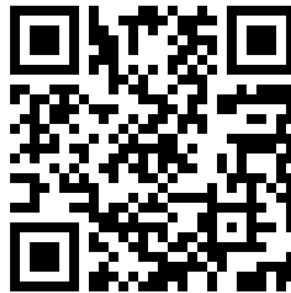
17. 表彰 各階級優勝者・準優勝者・3位（2名）の選手を表彰する。  
※但し、参加者3～7名の場合は2位までの表彰とする。

18. 旅費 参加者の負担とする。

19. その他
- (1) 今大会の運営は、宮城県中学校総合体育大会柔道専門部要項に準じて行う。
  - (2) 今大会で男子ベスト8（8名以上出場している階級）女子ベスト4（8名以上出場している階級）に入った者が、令和7年度の中総体地区大会予選に参加し、地区大会を通過して、県中総体に出場した場合はシードする。（ただし、各地区大会で順位が変わった場合は、各地区大会で上位の者を優先する。）もし、シード権を獲得した者が各地区予選を通過せず、別の者が県中総体に出場した場合は、その各地区から出場した者をシードする。
  - (3) 今大会でベスト4（入賞）に入った地区は、令和7年度の県中総体での出場枠をプラス1とする。
  - (4) 今大会の負傷、傷病などについては、学校からの参加において、独立行政法人日本

スポーツ振興センター法の定めを適用する。地域スポーツ団体等（地域クラブ等）においては、チーム代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。

- (5) 監督・コーチの先生方の服装は、審判に準ずる服装とする。
- (6) 脳振盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
  - ①大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ②大会中、脳震盪を受傷した可能性があるためと救護係が判断した場合、継続して当該大会に出場することは不可とする。（尚、至急専門医の精査を受けること。）
  - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。
- (7) 駐車場での事故等に関して当専門部は一切の責任を負わない。
- (8) 外部コーチを登録した学校の顧問の先生は、大会当日の外部コーチの出欠を確認し、1月26日までに、下記QRコードより Google フォームにて報告をする。



- (9) 大会の進行や選手の健康にも影響しますので、参加選手が着用する柔道衣のサイズやゼッケンの縫いつけ、また体重の管理などは各校の顧問の先生で事前指導し、確認をお願いします。
- (10) 1階への入場の際はIDカードが必要となる（各校作成の上、持参すること）  
※監督、コーチ、出場選手が必要となります。